

品名 アスファルト安定処理

アスファルト混合物配合報告書

報告年月日 2024年2月

製造工場名 大成ロテック(株)鳥取合材工場

混合物の種類 アスファルト安定処理

報告者 吉澤 拓人

工事名称

所在地

納入予定時期

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
5号碎石	(株)北部碎石	岡山県美作市	粘板岩
6号碎石	(株)北部碎石	岡山県美作市	粘板岩
7号碎石	(株)北部碎石	岡山県美作市	粘板岩
粗砂	(株)住若	佐賀県唐津市	海砂
スクリーニングス	(株)北部碎石	岡山県美作市	粘板岩
石粉	足立石灰工業(株)	岡山県新見市足立	石灰石粉
ストリートアスファルト	昭和瀝青工業(株)	兵庫県姫路市	60-80

2. 配合割合

材 料	5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉					
配合割合 (%)	16.0	26.0	15.5	23.5	16.0	3.0					

3. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過率					100.0	84.6	—	58.0	40.1	—	22.7	12.6	6.7	5.0

4. 室内配合アスファルト量及び製造の温度・時間等

アスファルト量 (%)	密度 (g/cm3)	空隙率 (%) (3~12)	飽和度 (%)	安定度 (kN) (3.43以上)	フロー値 (1/100cm) (10~40)	理論密度 (g/cm3)	突固め回数 (回)
4.0	2.374	6.1	59.9	6.81	24	2.528	50
アスファルト温度 (℃)	骨材の加熱温度 (℃)						
156	190						

骨材試験成績表

目的 配合設計

報告年月日 2024年2月

報告者 吉澤 拓人

試験項目		試験規格	5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリンガス	石粉		
密度	表乾	JISA 1109 JISA 1110	2.683	2.677	2.611	2.568	2.579			
	かさ		2.657	2.646	2.570	2.531	2.528			
	見掛		2.728	2.731	2.682	2.628	2.665	2.730		
吸水量 (%)	JISA 1109 JISA 1110	0.973	1.168	1.626	1.453	2.040	0.01			
ポンプすりへり減量 (%)	JISA 5001 JISA 1121		12.5							
安定性 (%)	JISA 1122									
骨材の微粒分量試験通過量 (%)	JISA 1103									
軟石含有量 (%)	JISA 1126									
偏平/細長石片の含有量 (%)	舗装調査・試験法便覧			1.87						
単位容積質量 g/ml	JISA 1104	1.58	1.53	1.51	1.67	1.80				
粘土塊含有率 (%)	JISA 1137	0.05	0.07							

通過質量百分率 (%)	ふるい目の開き	5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリンガス	石粉		
	53.0 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5	100.0							
	19.0	99.7							
	13.2	3.8	100.0	100.0	100.0				
	9.5								
	4.75		1.4	99.6	98.9	100.0			
	2.36			1.3	90.9	97.1			
	1.18								
	600 μm			0.2	48.1	52.5			
	300				18.6	32.7	100.0		
	150				1.5	21.0	98.1		
75				0.4	13.8	88.6			

骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計

報告年月日 2024年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

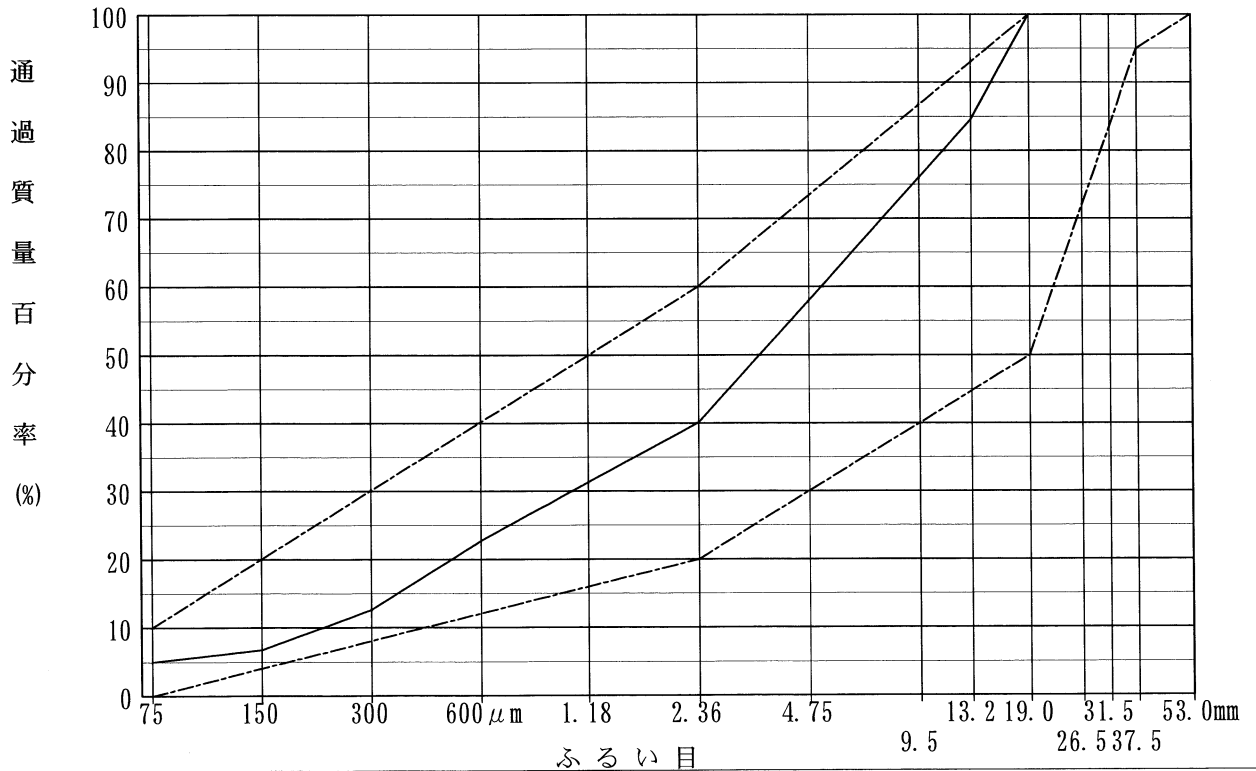
試験者 吉澤 拓人

・合成粒度

ふるい目	合成粒度	粒度範囲
53.0 mm		100
37.5		95 ~ 100
31.5		
26.5		
19.0	100.0	50 ~ 100
13.2	84.6	
9.5		
4.75	58.0	
2.36	40.1	20 ~ 60
1.18		
600 μm	22.7	
300	12.6	
150	6.7	
75	5.0	0 ~ 10

・粒径加積曲線図

----- 粒度範囲
 ———— 合成粒度



混合物の理論最大密度計算表

目的 配合設計

報告年月日 2024年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 吉澤 拓人

① 骨材の種類	② 骨材の配合率 (%)	③ 骨材の密度			④ 計算に用いる密度	⑤ $\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
5号碎石	16.0	2.683	2.657	2.728	2.728	5.865
6号碎石	26.0	2.677	2.646	2.731	2.731	9.520
7号碎石	15.5	2.611	2.570	2.682	2.682	5.779
粗砂	23.5	2.568	2.531	2.628	2.628	8.942
スリings	16.0	2.579	2.528	2.665	2.665	6.004
石粉	3.0			2.730	2.730	1.099
$\Sigma ⑤ =$						37.209

⑥ アスファルト量 (%)	⑦ アスファルト の密度	⑧ $\frac{⑥}{⑦}$	⑨ $\frac{\Sigma ⑤ (100-⑥)}{100}$	⑩ ⑧+⑨	⑪ 理論最大密度 $100/⑩$
3.0	1.041	2.882	36.093	38.975	2.566
3.5	1.041	3.362	35.907	39.269	2.547
4.0	1.041	3.842	35.721	39.563	2.528
4.5	1.041	4.323	35.535	39.858	2.509
5.0	1.041	4.803	35.349	40.152	2.491
4.0	1.041	3.842	35.721	39.563	2.528

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 配合設計 試験年月日 2024年2月
 混合物の種類 アスファルト安定処理 試験者 吉澤 拓人
 アスファルトの種類 60-80 アスファルトの密度 (A) 1.041 g/cm³ アスファルトの温度 156 (°C)
 骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 144 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数 (B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ 密度		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ 安定度		⑭	⑮	備考
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	フロート値 (1/100cm)			
																	$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	
標準	1	3.0	6.26	1205.6	687.1	1209.5	522.4	2.308								5.29	5.29	18	
	2		6.29	1206.9	687.8	1210.9	523.1	2.307								5.58	5.58	18	
	3		6.27	1205.9	687.3	1210.0	522.7	2.307								5.49	5.49	20	
								2.307	2.566	6.6	10.1	16.7	39.5				5.45	19	
標準	4	3.5	6.28	1208.3	697.4	1211.7	514.3	2.349								6.33	6.33	20	
	5		6.28	1209.2	699.5	1212.8	513.3	2.356								6.01	6.01	22	
	6		6.30	1207.5	696.8	1210.8	514.0	2.349								6.09	6.09	22	
								2.351	2.547	7.9	7.7	15.6	50.6				6.14	21	
標準	7	4.0	6.33	1210.5	703.8	1213.6	509.8	2.374								6.84	6.84	26	
	8		6.36	1209.6	703.9	1212.6	508.7	2.378								6.71	6.71	26	
	9		6.33	1210.8	703.6	1213.7	510.1	2.374								7.09	7.09	23	
								2.375	2.528	9.1	6.1	15.2	59.9				6.88	25	
標準	10	4.5	6.39	1213.1	706.9	1215.6	508.7	2.385								7.04	7.04	29	
	11		6.37	1212.5	705.8	1214.8	509.0	2.382								7.29	7.29	28	
	12		6.37	1213.9	706.2	1216.1	509.9	2.381								7.41	7.41	25	
								2.383	2.509	10.3	5.0	15.3	67.3				7.25	27	
標準	13	5.0	6.40	1214.4	707.2	1216.3	509.1	2.385								7.81	7.81	27	
	14		6.38	1213.5	707.9	1215.6	507.7	2.390								7.50	7.50	27	
	15		6.40	1215.8	708.0	1217.9	509.9	2.384								7.31	7.31	30	
								2.386	2.491	11.5	4.2	15.7	73.2				7.54	28	

(注1) ⑤-④

(注2) $\frac{③}{⑥}$

(注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

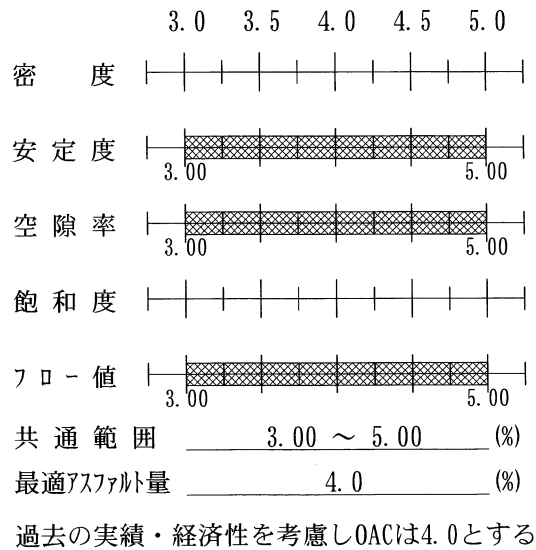
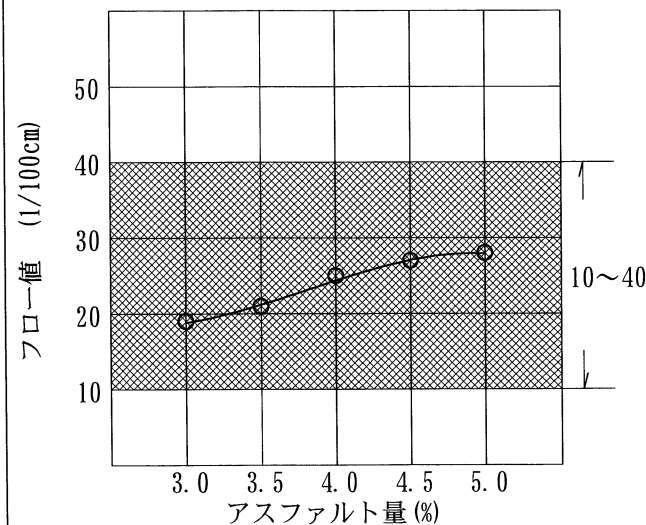
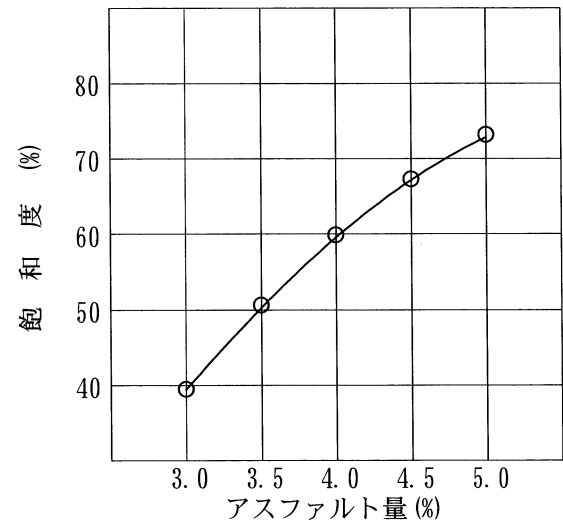
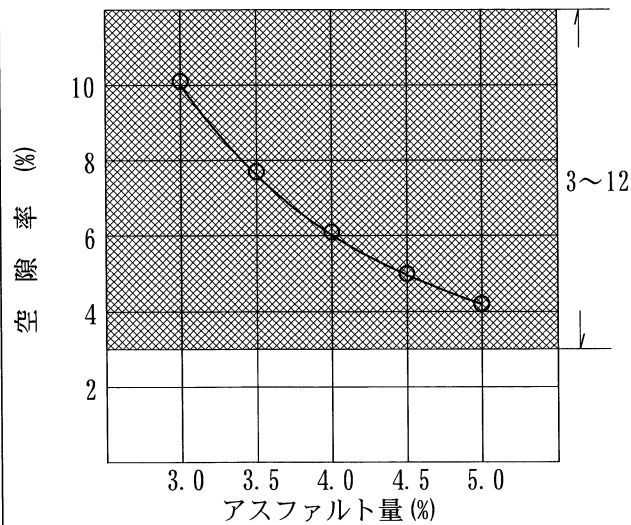
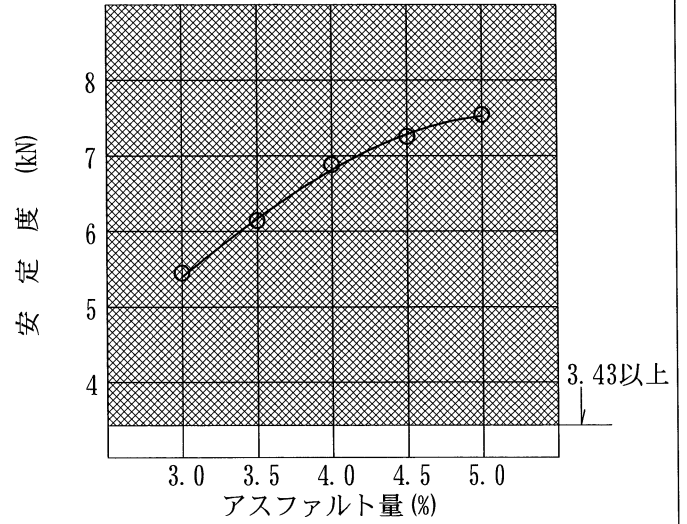
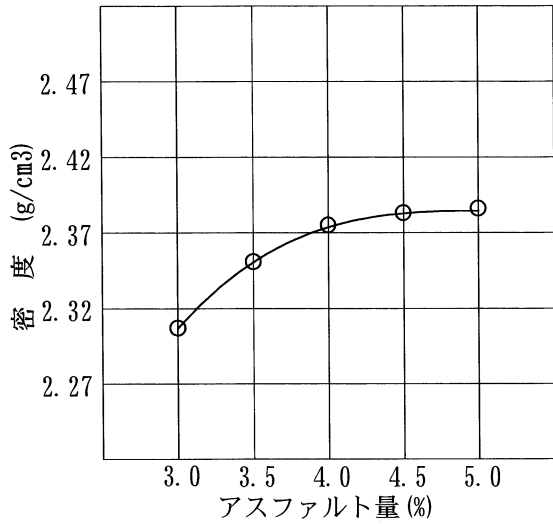
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 配合設計

試験年月日 2024年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 吉澤 拓人



配合設計まとめ

混合物の種類 アスファルト安定処理

報告年月日 2024年2月

試験者 吉澤 拓人

1. 骨材配合率

材 料	5号砕石	6号砕石	7号砕石	粗砂	スクリングス	石粉		
配合率 (%)	16.0	26.0	15.5	23.5	16.0	3.0		

2. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600 μ m	300	150	75
通過率					100.0	84.6	—	58.0	40.1	—	22.7	12.6	6.7	5.0

3. 最適アスファルト量

OAC・・・ 4.0 %

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 試験練り 試験年月日 2024年2月
 混合物の種類 アスファルト安定処理 試験者 吉澤 拓人
 アスファルトの種類 60-80 アスファルトの密度(A) 1.041 g/cm³ アスファルトの温度 156 (°C)
 骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 144 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑦ 密度		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ 安定度		⑮	⑯		
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度		フロー値 (1/100cm)	備考
															安定度	安定度		
							(注1)	(注2)	$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	⑨+⑩	$\frac{⑨}{⑪}$		(B) × ⑬				
標準	1	4.0	6.33	1209.2	703.1	1212.5	509.4	2.374					7.41	7.41	23			
	2		6.36	1208.1	702.6	1211.1	508.5	2.376					6.88	6.88	25			
	3		6.38	1208.6	702.9	1211.8	508.9	2.375					7.01	7.01	23			
							2.375	2.528	9.1	6.1	15.2	59.9		7.10	24			

(注1) ⑤ - ④
 (注2) $\frac{③}{⑥}$
 (注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

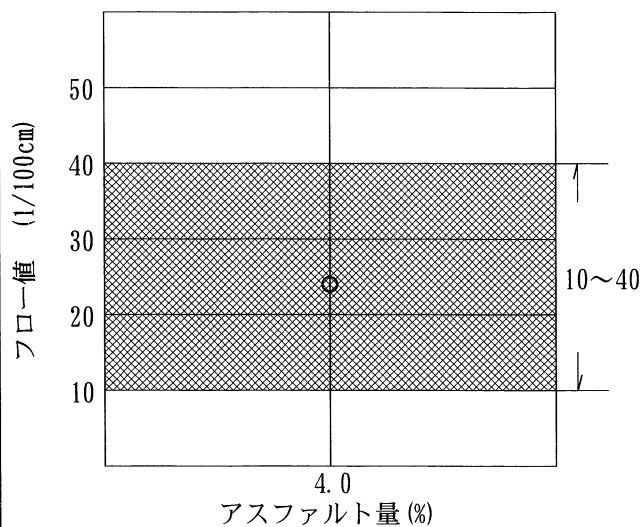
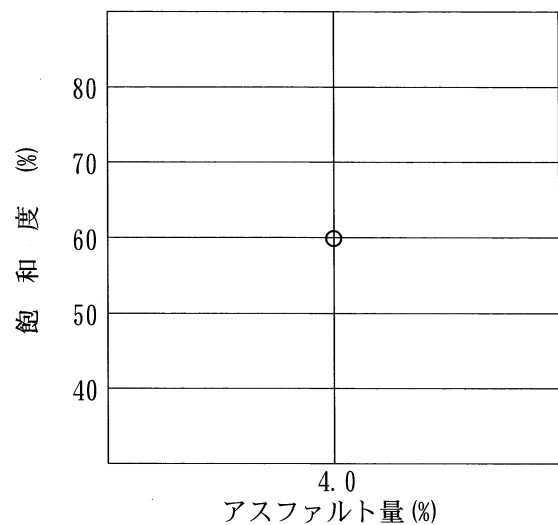
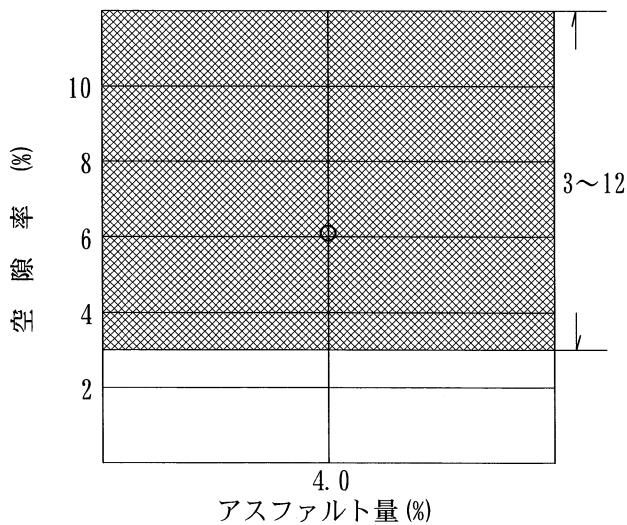
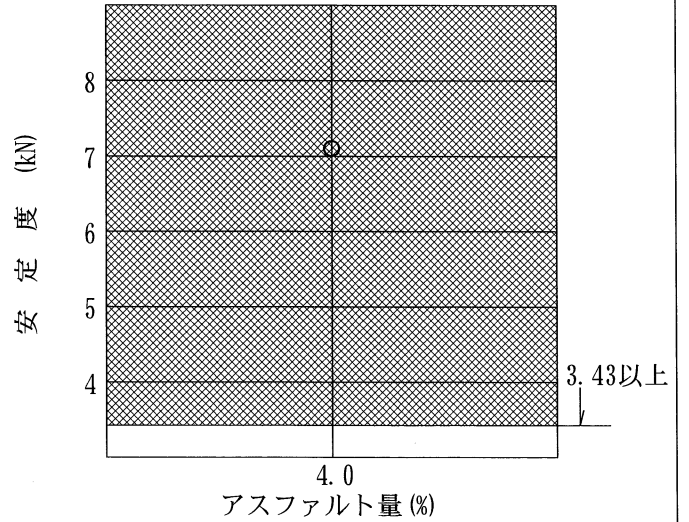
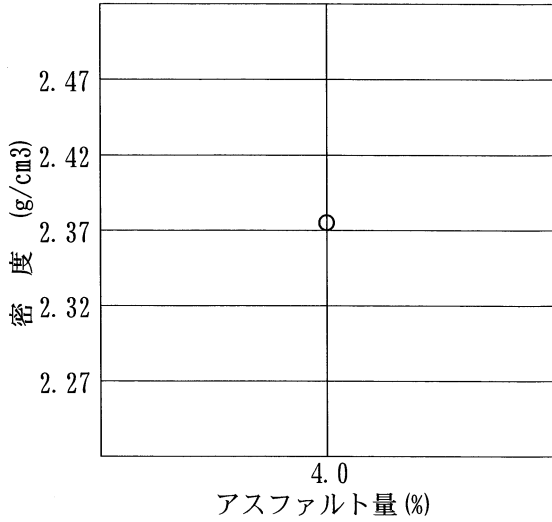
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 試験練り

試験年月日 2024年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 吉澤 拓人



ホットビン粒度設計

目的 試験練り

報告年月日 2024年2月

混合物の種類 アスファルト安定処理

試験者 吉澤 拓人

ビン	5 BIN	4 BIN	3 BIN	2 BIN	1 BIN	ダスト	石粉					
配合率 (A) (%)		13.0	26.0	19.0	37.0	2.0	3.0					
通過質量百分率	53.0 mm											
	37.5											
	31.5											
	26.5											
	19.0		100.0	100.0								
	13.2		0.6	90.2	100.0							
	9.5											
	4.75		0.1	0.5	83.9	100.0						
	2.36			0.2	3.5	92.7						
	1.18											
(B) (%)	600 μm				0.3	47.6	100.0					
	300					20.6	99.8	100.0				
	150					5.2	94.8	98.1				
	75					1.8	80.6	88.6				

ホットビンのふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100												合成粒度	粒度範囲		
ふるい目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	
53.0 mm															100
37.5															95 ~ 100
31.5															
26.5															
19.0		13.0	26.0											100.0	50 ~ 100
13.2		0.1	23.5	19.0										84.6	
9.5															
4.75		0.0	0.1	15.9	37.0									58.0	
2.36			0.1	0.7	34.3									40.1	20 ~ 60
1.18															
600 μm				0.1	17.6	2.0								22.7	
300					7.6	2.0	3.0							12.6	
150					1.9	1.9	2.9							6.7	
75					0.7	1.6	2.7							5.0	0 ~ 10

粒径加積曲線図

----- 粒度範囲 ———— 合成粒度

